一粒耕心

トマト
～研究を重ねたトマト栽培～

塚本　正春さん（中）
まり子さん（右）
光広さん（左）
（能代市・樋口）

園芸部会には様々な農家が所属し、その中でトマト栽培を行っている部会員は10名（平成27年度6月末）です。生産者は堆肥をたっぷり投入した減農薬栽培に取り組み、新鮮なトマトは名古屋市場を中心に、秋田・地元市場へも出荷しています。

能代市樋口に住む塚本さんは600坪の敷地で約3，500株ものトマトを栽培し、今年でトマト栽培11年目を迎えます。栽培のポイントについて伺うと「病気には特に気をつけています。そして、トマト栽培は管理が細かく肥料のタイミングがずれるだけで全く出来が違ってくるので、毎日のチェックは欠かせません。」と塚本さん。また、研修で訪れた北海道の栽培方法を試すなど、トマト栽培の研究に余念がなく「10人が食べて10人がおいしいと言ってくれる理想のトマトを目標に栽培を頑張っていきたいです」と笑顔で話してくれました。

現在、後継者の息子さんを含め、家族で経営をしている塚本さん。これまで築き上げた経験と技術で高品質なトマトをこれからも栽培していきます。

経営規模

トマト……20a
水　稲……70a